

平成21年度 商工会事業評価システム【事業分野別指標達成度及び注目すべき実績】一覧表

商工会名	指標達成度		注目すべき実績		目標値設定の妥当性	報告の有無	
	事業分野	達成度	重点課題項目として実施した注目すべき実績はどうか	今後の展開について	妥当性はあるか	理事会	総(代)会
前橋東部	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	87.5% 51.8% 94.6% 102.6% 12.5% 100.0% 76.8% 83.2%	①[区分1]商業部会(商業部会に係わるアンケート調査):アンケート回収率は30%と少なかったが、部会員の交流の機会(情報交換)を年3回位は実施してほしいという意見もあった。②[区分1]建設部会:「緑のカーテン」事業についての視察研修会を実施した。③[区分3]パソコン研修会の開催:ワード・エクセル(オフィス)基礎講座、ビジネス文章講座の開催。④[区分3]デジタルカメラビジネス活用講座:プロカメラマンによるデジタルカメラの基本的な使い方やシーン別・被写体別の撮影テクニックの習得とビジネスへの活用方法の習得。⑤[区分1]部会活動事業(観光・飲食店部会):「大芋煮会」を地元観光施設にて開催した。⑥[区分1]部会活動事業(観光・飲食部会):「史跡巡りウォーキング」を実施し、近隣住民の方と共に観光資源発掘に貢献できた。⑦[区分1]部会活動事業(工業部会):商工会HPに「仮想工業団地」を立ち上げ、工業部会員の事業内容を情報発信することが出来た。⑧[区分1]部会活動(建設部会):各種技能講習・作業主任者講習に対する受講料補助。	①完了。今後の商業部会事業計画に反映させる。②建設部会でもどのように取り組んでいくのが今後の課題となる。③アンケート調査で研修会内容が好評であったので、次回の講座も継続して企画したい。④アンケート調査で好評であったので、次回の講座も企画したい。⑤年度後半のイベントとして定着して来たので継続していく。費用面での検討が必要になっている。⑥参加者から好企画であるとの話が多くだったので、新たな史跡を対象として企画したい。⑦「仮想工業団地」の内容(掲載事業所を増やす)を充実していく必要がある。⑧企業努力し、技術力体力をつける。		5月7日	5月27日
群馬伊勢崎	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	75.2% 74.9% 112.4% 89.2% 0.0% 61.1% 97.4% 76.3%	①[区分2]創業人材育成事業(創業塾・経営革新塾):ネットショップ起業塾2009(5回コース)、ネット経営革新塾2009(8回コース)の開催。②[区分1]目的別研究会事業:消費者心理研究会(7回コース)、差別化心理研究会(6回コース)、ものづくり研究会(11回コース)、境地区中心商店街活性化研究会(4回コース)の開催。③[区分1]不況対策事業(キャリアアドバイザー事業):製造業事業所ヒアリング(339社巡回)、窓口相談・課題別講習会の開催(253社)。④[区分2]法認定(経営革新・農工商連携等)支援事業:経営革新計画承認件数3件(県全体承認件数の約10%)、農工商連携事業計画認定件数1件、1社1技術6社、環境GS2社認定支援。⑤[区分4]地域振興調査事業(商業):商業経営者実態調査、買物アンケート調査、経営者ヒアリング調査、消費者グループヒアリング、個店経営診断事業の実施。⑥[区分4]いせさき商品券発行事業:登録店募集活動=572店舗(会議所分含む)、商品券発行活動=販売総額3億円。	①IT活用による販路拡大と売上向上。②より細分化したテーマを設定することで、研究会活動の目的が明確となり、経営改善効果が高くなる。③製造業アドバイザーに加え、金融アドバイザーを設置(拡充)。④高度専門化する経営課題にも対応している本会の運営姿勢をPRすることで、会員から信頼感が高まる効果を期待する。⑤22年度は赤堀地区の調査を実施する。⑥取扱登録店にとって「新規客の獲得」と「固定客化」につながるようなマーケティング面での支援を合わせて実施する予定。		4月26日	5月21日
渋川市北橋	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	96.3% 80.5% 61.0% 75.0% 12.5% 50.0% 89.4% 77.5%	①[区分7]古代ロマンの里「たちばな」事業:看板における情報コーナーの活用を図る。新キャラクターを作り、新キャラクターを活用した祭りTシャツの製作。②[区分7]たちばな古里まつり:祭りの開催により、地域の商工会であることをPRすることができた。加えて、他団体との連携も強化出来た。③[区分1]エキスパート事業の活用:エキスパート5回、経営安定特別相談1回。④[区分1]巡回指導の強化:会員事業所に年5回巡回訪問を実施した。配布物(金融案内1回、商工会報3回、ビジネスノート1回)。⑤[区分4]総力祭事業:2日間で170人1480回の抽選がなされた。回収率も92.3%と高く顧客サービスにつながった。⑥[区分8]会員パンフレットの作成:会員のパンフレットを作成し、自治会長経由にて北橋町全戸に配布した。	①橘山の整備をすることにより観光の拠点としたい。②中学生が全面協力してくれている古代行列を主にしていきたい。③エキスパートを利用・活用することで会員の必要な情報を提供していく。④巡回を強化したことにより窓口が少なかった。今後は、巡回及び窓口の両方を強化したい。⑤抽選券の発行枚数が減少していること及び来場者の減少等改善点が見受けられる。⑥今後は、ブログ等で渋川市内だけでなく、広く会員を紹介していきたい。また、取引の発生を期待したい。		5月10日	5月26日
渋川市赤城	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	82.6% 352.2% 85.9% 66.3% 12.0% 100.0% 61.8% 84.8%	①[区分1]巡回・窓口指導相談事業:実績=巡回指導比率47.5%、年間巡回件数308件、年間窓口件数340件。経営相談内容が深刻化し、対応に時間を要すが問題点の抽出や対応策指導したことで経営改善に貢献できた。②[区分1]講習会等事業:実績=開催回数12回、講習会等出席率31.9%、1回あたりの出席者数12.9人。③[区分4]プレミアム付商品券発行事業:卸小売業、サービス業の60件が登録事業所となり、9月27日から4日間で販売完了した。④[区分4]飲食店等のガイドマップ:飲食店や特産的物産品販売事業者等を25件、イチゴ狩り、ブルーベリー狩り等も併せて紹介することで、誘客しやすいマップに努めた。⑤[区分8]商工会組織率:実績=64.9%。加入者5名(うち創業者1名)に対し、廃業7名。	①経営相談日の確実な開催と業務の効率化を図り、巡回しやすい環境に努める巡回の強化を図る。②事業者や地域ニーズの把握に努め、的確な内容の講習会等を開催することで、経営者等の資質向上に貢献する。③一人でも多くの消費者への販売と特定事業者には偏らない利用方法の実施。プレミアム率の向上を市に要望していく。④お客様にとって利用しやすく、魅力ある商品の提供に努めていくことが求められる。⑤更なる組織率向上のために、商工会業務周知や役員協力の下事業展開を図る。		4月28日	5月24日
富士見	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	87.2% 14.3% 41.8% 51.0% 52.2% 100.0% 93.8% 85.6%	①[区分8]オリジナルカレンダー作成配布:広報委員会を開催し、商工会PR方法の検討。②[区分7]マイクロ水力発電調査研究事業:事業受託により費用面での支援も受けられ、マイクロ水力発電設備の候補地の調査・研究が進展した。③[区分7]千客万来支援事業による地域観光振興:県の補助事業(千客万来支援事業)に採択された。参加型動画配信サイトの構築ができた。	①好評であり継続も検討。会員ニーズを的確に捉え、企業のPRツールとしても活用が期待できる。②設備の設置実現化へ向けた調査研究の継続実施。③活用を推進することで、継続実施を期待。		4月22日	5月20日
渋川市子持	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	82.6% 14.3% 19.4% 42.8% 9.0% 50.0% 83.0% 83.7%	①[区分8]小規模事業者振興対策事業:商工会通信を地区ローワーク内全戸に行政を通じ配布。②[区分7]白井宿六斎市開催事業:市当局と連携し、武者行列、弥酔の句会、六斎市の3つを併せ「白井宿八重さくら祭り」と称して盛大に開催した。③[区分4]プレミアム商品券発行事業:79店舗の参加。商品券(総額1,100万円)は2日間で完売。	①内容を充実し、定期的な発行を続けて行きたい。②行政からも期待は高く、今後も更に発展させて行きたい。③プレミアムが1割で発行していたが、今後は1割5分にして継続して発行していきたい。		5月13日	5月28日

黒字:達成、緑字:県内平均超、青字:県内平均以下、赤字:未着手

平成21年度 商工会事業評価システム【事業分野別指標達成度及び注目すべき実績】一覧表

商工会名	指標達成度		注目すべき実績		目標値設定の妥当性	報告の有無	
	事業分野	達成度	重点課題項目として実施した注目すべき実績はどうか	今後の展開について	妥当性はあるか	理事会	総(代)会
渋川市伊香保	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	91.4% 52.5% 69.9% 108.3% 47.6% 100.0% 99.8% 86.2%	①[区分1]巡回指導の充実:巡回指導を重点的に行なった結果、会員の商工会に対する評価向上はもとより会員のニーズを把握することができた。②[区分7]伊香保まつり主管:新渋川市の観光の拠点である伊香保町地区の中心的な観光行事として実施した。③[区分7]伊香保温泉観光団体連絡協議会誘客事業:商工会親会はもとより、青年部・女性部・各部会も積極的に各事業に参加協力。④[区分7]女性部活動:主な活動内容(ほうずきの配布事業、お多福行列、桜の植栽事業)⑤[区分7]青年部活動:主な活動内容(ハワイアンフェスティバル等、夏期イベント、降雪時対策事業)	①計画的かつ効果的な計画のもとに、巡回指導体制を充実させる。②新渋川市の観光の拠点として、今後も地域振興、活性化の観点から、継続していく必要がある。③JRのデスティネーションキャンペーンの本開催となるため、新たな誘客事業を模索中。④さらなる展開・発展を推進するため今後、協議・研究する必要がある。⑤青年部という各事業所を支える重要な立場にある人材に、地域振興、活性化の認識を高める		5月11日	5月24日
榛東村	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	87.6% 82.8% 84.6% 103.5% 384.4% 50.0% 74.6% 85.8%	①[区分1]巡回指導強化事業:巡回指導比率が73%と前年比5%増となった。②[区分2]創業・新分野進出支援関連事業:経営革新計画承認企業1社、経営革新支援企業2社。③[区分2]創業支援事業:新規青色申告者3名、創業者1名。④[区分5]村のワインをたっぷり使用!「榛東村・フルコース」のご案内:村内産農畜産物を利用した特産品が出来る(レトルト食品3品、ドレッシング3品、スイーツ類6品、等)。⑤[区分8]財政基盤強化:新規加入者7名ありましたが、廃業等による脱会が4名で前年度末比3名の純増で会員数305名、平均会費12,362円。⑥[区分8]会員加入促進:担当役員よりの情報を基に非会名簿の作成、会員の取引先の紹介、巡回指導時に看板・建物等の確認。	①村内唯一の地域経済団体として、地域農畜産物を利用した農工商連携事業と地域活性化リーダーとしての必要性を更に高め、理解をいただく。②今後も継続し、新事業分野への進出企業を迅速に把握し、取り組みを進めたい。③創業者等の情報収集を適切に行い、安定会員確保に結び付け、組織強化に努めたい。④特産品開発試作品づくりから、今後は事業展開に伴い新たな創業者、事業者の育成が図れ組織強化に結び付けて行きたい。⑤商工会会員帰属意識の高揚を図り、各種共済、記帳機械化のメリットを積極的にPRする。⑥商工会加入のメリットの照会、各種共済事業の広報活動を積極的に行う。		5月10日	5月20日
吉岡町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	97.8% 50.4% 79.3% 100.9% 11.8% 0.0% 58.4% 84.9%	①[区分8]会員加入促進事業:廃業等により脱退者が19件に上ったが加入勧奨の結果17件の加入がありました。②[区分8]吉岡町指定ゴミ袋袋等販売事業:ゴミ袋会計の決算額15,441千円、前年度対比94%の実績になりました。③[区分3]パソコン研修会:ワード6日間コース(初心者を対象にしたコースで基礎の研修)に、定員15名集まった。④[区分7]無料職業紹介事業:商工会会員事業所の従業員確保、及び地域に密着した求職者の雇用の促進となった。⑤[区分8]商工会広報誌発行事業:商工会活動の紹介、その他商工会に関する記事を掲載した広報誌を全会員へ配布し会員相互の連携が強化された。⑥[区分8]優良従業員表彰式:5年ごとに吉岡町と商工会共催で優良従業員表彰式を行なった。	①組織強化のため常時加入勧奨を行なう。②商工会の自己財源確保のため継続して実施していきたい。③会員から期待されている研修会でもあり今後も継続して行なって行きたい。④就職難の時代に身近なハローワークとして、今後益々その重要性が増すと思われる。⑤今後も商工会活動を広報誌で周知し、商工会を利用して欲しい。⑥次回(5年後)実施し会社、従業員の信頼関係を益々深いものに行きたい。		5月13日	5月21日
玉村町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	76.2% 73.1% 50.3% 99.9% 12.1% 0.0% 85.5% 97.5%	①[区分8]会員組織率強化事業:加入者数26名、脱退者数31名、平成21年度末現在会員数643名(組織率50.8%)。②[区分1]建設業一人親方労災団体の設立:平成22年3月25日「玉村町商工会建設業一人親方労災会」設立総会を開催し、当初会員15名でスタートした。③[区分7]商工会春まつり:延べ来場者数は約3,000人であった。④[区分7]たまむら歌留多普及事業:「たまむら歌留多」の配布実績は、平成22年3月31日現在で一般向けは64セットであった。⑤[区分4]ふるさとまつり「うちわ大抽選会」:ふるさとまつりへの来場者総数は約25千人で、持参されはうちわは3,591本であった。⑥[区分8]全会員対象親睦日帰り旅行:参加者総数204名。大型バス5台のチャーターとなった。⑦[区分4]たまむらトク商品券発行事業:8月30日の発売2時間で完売、取扱店(事業所)175店、換金金融機関=町内7金融機関8支店、換金率99.7%⑧[区分2]たまむら安心リフォーム組合運営支援事業:66件の相談を受け、そのうち44件と成約・施工できました。(成約施工率66%)	①22年度から労働局の認可を受け、建設業の一人親方労災保険の募集をスタートさせるので、これによって会員増強に直結させ、組織率の向上を目指す。②労災保険加入を切り口として、会員増強につなげていきたい。③継続実施していくことで地域活性化はもとより、出店企業・スポンサー企業のPRが期待できる。④「たまむら歌留多」を普及浸透させていく。⑤商工会商業部会のメイン行事として定着しつつあるため、反省課題等は見直し継続実施予定である。⑥今後も継続実施し会員満足度の向上に努めたい。⑦玉村町3月議会での審議の結果、平成22年度も同額の予算が可決。⑧玉村町商工会と事務委託契約を締結し継続実施する。		5月11日	5月25日
安中市	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	74.9% 14.3% 39.5% 84.6% 36.2% 100.0% 91.2% 75.9%	①[区分5]中小企業庁地域資源∞全国展開プロジェクト:廃棄生梅の有効活用技術の開発と地域活性化事業成果として、(財)中小企業異業種交流財団より表彰。②[区分8]部会等合同研修事業:商業・工業・サービス業部会と青年部の合同交流事業の一環として、「JAPAN SHOP2010」の視察研修。③[区分7]安中観光誘客プロジェクト:デジタルサイネージで観光等地域情報を発信。ラリーポイント端末の設置。	①商品開発と販路の策定。②事業内容を検討しつつ、継続開催として実施。③市及びあらゆる関係団体と緊密な連携を図りながら新たな観光ビジネスの確立を図る。		4月22日	5月21日
高崎市榛名	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	94.4% 26.2% 37.9% 96.1% 12.2% 66.7% 86.1% 82.8%	①[区分1]巡回指導の強化:巡回指導件数の増加、新規加入会員6件獲得。②[区分2]相談指導の専門化:創業者の開拓。③[区分3]パソコン研修の実施、光ファイバーの促進:経理会計ソフトの推進、光ファイバー促進の為に巡回指導。④[区分8]収益事業の充実:電子入札登録代行、消費税代行、記帳代行、電子申告の推進、労働保険業務の迅速化、共済事業の強化。⑤[区分4]イルミネーションバザール等の実施:来客数の増加がはかれた。行政、住民との連携がとれた。	①職員のさらなる意識改革、職員のさらなる知識向上。②職員の資質向上、資格の取得。③研修会の継続的実施。④会員ニーズのさらなる把握、さらなる職員の資質向上(資格の取得)。⑤消費者ニーズの変化に対応し研究する		4月12日	5月20日

黒字:達成、緑字:県内平均超、青字:県内平均以下、赤字:未着手

平成21年度 商工会事業評価システム【事業分野別指標達成度及び注目すべき実績】一覧表

商工会名	指標達成度		注目すべき実績		目標値設定の妥当性	報告の有無	
	事業分野	達成度	重点課題項目として実施した注目すべき実績はどうか	今後の展開について	妥当性はあるか	理事会	総(代)会
高崎市倉渕	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	80.3% 19.0% 22.2% 59.6% 13.0% 50.0% 54.1% 80.8%	①[区分1]所得・消費税の個別指導会:所得・消費税の理解と正しい申告方法を理解して頂けた。②[区分3]ホームページ更新事業:ホームページの更新、掲載事業所の募集。③[区分4]睦会活性化事業:睦会加盟店での消費者サービス。④[区分5]地域資源活性化事業:地域資源を活用した特産品の開発、周知PR。⑤[区分8]商工会組織基盤強化事業:加入者1名、脱会者7名、純減6名のため組織率88%となる。	①引き続き指導会を開催しスムーズな申告ができるようにしていく。②情報を充実しアクセス数の増加をはかる。③事業実施内容を見直し継続したい。④事業内容を検討し今後も継続したい。⑤未加入者への積極的な加入勧奨を今後も実施したい。		4月20日	5月25日
高崎市箕郷	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	94.2% 23.8% 87.7% 90.9% 12.5% 100.0% 121.2% 85.7%	①[区分8]商工会組織基盤強化事業:年1回の加入促進日を設営し、役員8名職員3名総勢11名にて3班に分かれて30事業所を戸別訪問して、商工会のPR、未加入事業者の掘り起こしが出来た。②[区分1]企業経営と健康管理:「健康管理とインフルエンザ対策」と題してみさと診療所院長金子哲也氏を招き講演会を行った。③[区分1]技術基盤強化支援事業活用による指導:中小企業診断士を招致し、3事業所の指導支援を実施した。④[区分7]青年部アゲ×アゲ祭実施(産業祭事業):会員事業所は飲食店6店舗・店舗紹介3事業所と出店し、完売するなど盛況を得た。⑤[区分8]青年部増強運動:新規部員4名という実績をもたらした。	①年1回の加入促進では、成果を上げるのは難しいので普段から加入促進に心掛ける。②これからも時流に沿った講演会を実施していきたい。③良い事業なので、更に多くの会員に制度を利用して頂きたい。積極的な普及に努める。④より幅広い年齢層の参加及び多様な業種紹介を促せるイベントを目指す。⑤継続的に実施することにより、組織強化と活性化に寄与し、若手後継者の育成を行う。		4月23日	
高崎市群馬	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	100.7% 28.6% 39.8% 98.9% 6.7% 100.0% 75.9% 79.0%	①[区分1]エキスパート及び個別個店指導の充実:景気の悪化や消費の落ち込みにより資金繰りに苦慮する事業者も多いがエキスパート及び個別個店指導の充実によりこれに対応した。②[区分3]パソコン活用講習会の実施:小規模事業者を対象として、アクセスの基本的な使い方を理解するとともに、利用応用が豊富なアクセスの操作を習得することで、事務効率化を図る。③[区分7]イベントの実施:青年部主催によるイベント「青年部広場」を春と秋の2回開催した。④[区分7]福祉事業の実施:青年部主催による福祉事業(クリスマス福祉事業、節分福祉事業)。⑤[区分8]商工会通信の発行:走行通信(A3両面)を隔月会員に発行し、商工会から情報の発信を行った。⑥[区分8]会員事業所PR事業:高崎市群馬支所及び福祉会館の2カ所にカタログスタンドを設置し企業PRの場として活用した。	①各事業主の抱えている問題が鮮明になり、将来への指針が得られるよう配慮したい。②パソコンを活用した講習会を今後も継続して実施してほしいとの要望も多く配慮していきたい。③毎回好評であり、工夫をしながら内容の検討を行っている。④定着してきており、毎回楽しみにしているようで工夫しながら今後も継続していきたい。⑤商工会の事業内容を理解していただける機会であり、今後も積極的に行いたい。⑥今後は効果的なチラシ・パンフレット作成講座を検討したい。		5月7日	5月28日
高崎市新町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	98.1% 28.6% 76.6% 72.7% 16.3% 50.0% 86.0% 87.9%	①[区分1]巡回指導の計画的実施:会員との信頼関係がより強くなり、相談指導において適正的確な判断が可能となった。②[区分3]情報化対応事業:パソコン講習会開催、e-tax(電子申告)普及推進、ぐんま電子入札共同システムの利用指導。③[区分4]商店会事業活動支援:「花木まつり」事業、「イルミネーション装飾」事業支援、「七夕まつり」事業支援、「節分福市」事業支援、「大売出し・スタンプイベント」事業支援、「エコポイント活用によるプレミアム商品券発行」事業支援、他。④[区分7]域総合振興事業:来場者数=花火大会・灯籠流し(20,000人)、神輿まつり(8,000人)、商工祭・大道芸まつり(12,000人)、新町ひなまつり(25,000人)、その他合計(21,200人)。⑤[区分1]地域巡回セミナー・講習会:労働管理の留意点について講習会を開催、下請取引法に関する巡回セミナーを開催。	①計画的かつ効果的な巡回訪問実施により、ニーズにマッチした巡回相談指導体制をとり会員の期待に応えたい。②小企業者にとって、「ICT戦略」は今後の事業継続や事業拡大を進める上で重要な課題であるので、継続して指導を行いたい。③今後補助金削減が予想されるので、独自財源で実施が可能な仕組み(体制)づくりが急務。④商工会員並びに地域住民の期待度も高く定着したイベントとなっているため、今後も継続して実施していきたい。⑤今後も同様のセミナー・講習会を開催し、会員事業所が健全な経営が行えるようフォローしていきたい。		5月14日	5月25日
藤岡市鬼石	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	93.2% 69.0% 87.8% 88.6% 12.5% 0.0% 85.1% 83.5%	①[区分4]共通プレミアム商品券発行事業:商工会議所と共通プレミアム商品券発行事業をおこなうことで、連携強化が図られた。②[区分7]販売用見本庭園のPR活動:9月「ぐんまちゃん家」で三波石販売促進キャンペーンを開催、11月「地元鬼石の旧体育館跡地」において三波石の見本庭園まつりを実施した。③[区分1]e-taxの推進事業:藤岡税務署と共催でe-taxの周知普及の講習会を実施した。④[区分1]巡回指導の充実:経営指導員等が企業回り、会員回り出来るよう、内部組織の見直しを図っている。⑤[区分8]組織財政特別委員会の設置と活動:当会では一昨年からの委員会に商工会改革を委託し検討を行っている。⑥[区分7]桜山ライトアップ実験事業:桜山日本庭園に照明機材を持ち込んで、約3週間ライトアップ事業をした。	①人気があるので、市の補助金が続く限り、これからも実施していきたい。②何回か実施して見ないとそれなりの成果はでないと思う。これからも継続していくつもりである。③e-taxの使い勝手の良さをもっと周知させ、今後の普及活動に反映したい。④巡回指導が徹底できるよう内部事務の見直しを図っていく。⑤積み残しの課題が山積されており、2010年度も引き続き実施していく予定である。⑥2010年度は、本格的常設の桜山ライトアップ事業が出来そうである。		5月10日	5月25日
高崎市吉井	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	98.0% 47.6% 75.8% 97.5% 12.3% 100.0% 91.4% 80.8%	①[区分1]計画的巡回訪問の実施と内容の充実:年間スケジュールの中で計画的かつ効率的な指導計画を立てた。②[区分3]情報化関連指導・セミナー開催:高崎市等電子入札制度支援、青色申告者(個人)の電子申告支援及び電子申告代理送信、ワード、エクセル操作研修会、等の開催。③[区分1]ものづくり人材育成セミナー:現場主義を標榜する一橋大学大学院商学研究科教授関満博先生による講演会を実施。④[区分1]県内外先進地・先進施設等視察研修事業:本会役員その他、商業工業部会役員、青年部女性部主要役員等多くの役員に参加を呼びかけた。⑤[区分7]市・会議所との連携事業の推進:市、会議所の諸施策が把握でき市の合併後の当会の取り組む事業の方向付けがなされた。	①会員ニーズにマッチした巡回相談指導体制をとりたい。②さらに効果的で実効性のある情報化関連事業を、会員の声に応えながら実施して行きたい。③県の同様の補助事業に積極的に参加すると同時に、これらをきっかけに地域の活性化につなげていきたい。④参加者が見る聞く話すことによって得られる事が多い視察内容とすることが重要である。⑤互いの特色を生かしつつ補完しあう形で新たな関係を構築したい。			5月28日

黒字:達成、緑字:県内平均超、青字:県内平均以下、赤字:未着手

平成21年度 商工会事業評価システム【事業分野別指標達成度及び注目すべき実績】一覧表

商工会名	指標達成度		注目すべき実績		目標値設定の妥当性	報告の有無	
	事業分野	達成度	重点課題項目として実施した注目すべき実績はどうか	今後の展開について	妥当性はあるか	理事会	総(代)会
上野村	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	87.9% 7.1% 36.1% 68.0% 10.9% 72.2% 93.9% 88.4%	①[区分5]創造の森上野村活性化事業支援:ちよっとレベルの高い木工教室、創造の森上野村フェスティバル(来場者4,439人、木工品売上4,658,390円、木工教室参加者130組、特産品売上887,600円)。②[区分5]創造の森上野村クラブ展支援事業:上野村木工家協会12人の作品展を開催(期日:平成21年4月9日～15日、場所:新宿パークタワー1階ギャラリー・3)。③[区分4]地域商業活性化事業:サービス券企画の新聞折込800枚実施。④[区分3]商工会ホームページ更新事業:会員事業所の紹介ページの充実により、ビジネスチャンスの創出を図った。⑤[区分4]旅館民宿飲食店経営研修会:旅館民宿飲食店の従事者13名が参加し、自店の経営の現況を認識できた。	①さらに参加者を広域的に募り、上野村を多くの木工家が集まる場所とし、知名度と集客力を高めていき、「木工の里上野村」のイメージを確立していく。②上野村の木工産業のレベルアップと販路の拡大、村への入込客の増加。③参加者に、個店の繁栄のための共同事業であることを認識させ、地道な成果を積み上げる。④関心の低い事業者にホームページの必要性を説明し、掲載参加を促す。⑤お客の視点、意識を知る研修会を開催したい。		5月13日	5月27日
神流町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	89.7% 20.0% 33.7% 92.8% 11.8% 81.0% 75.3% 109.3%	①[区分5]地域資源調査研究∞事業:全体的に委員が協力的・献身的であったため、短期間にも関わらず、ブランドコンセプトが確立できたことは大きな成果である。②[区分1]神流町緊急保証制度:商工会報や金融機関と連携して、会員事業所に周知し、金融支援を実施した。③[区分4]プレミアム付商品券事業:プレミアム付商品券取り扱い加盟店76店舗が、使用期限10月10日までの対応をした。④[区分7]神流町マウンテンラン&ウォーク:町民総参加による、手作りイベントをモットーに、知恵を出し合い成功させるために努力した。⑤[区分1]エキスパートバンク事業活用に指導実績:相続、事業承継税制について知識を得る事で事業承継後の経営方針を明確にして、先代からの事業を担う。	①ブランド商品として昇華させるためには、乗り越えなければならない課題や問題点が多い。②資金繰りに苦慮している会員事業が本制度を利用の後事後指導、自立して資金繰り改善支援を推進する。③完了。各事業者には、今後の販売戦略の方法を検討してもらいたい。④既に、本年度の計画もあり、更なる地域振興が図られる。⑤事業承継は完了した。新たなサービスメニューを模索する。		5月7日	5月27日
富岡市妙義	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	98.5% 28.6% 33.3% 50.0% 11.5% 100.0% 90.8% 83.7%	①[区分5]農商工連携・地域資源活用セミナー:関東地域活性化事務局のアシスタントマネージャーを講師に招きセミナーを行い、18名の受講者であった。②[区分1]住宅瑕疵担保履行法講習会:財団法人群馬県建設技術センター事務局次長を講師に招き講習会を実施し、11名の受講者であった。③[区分1]エキスパート事業の活用:エキスパートバンク事業の活用状況=2事業所(商品陳列・レイアウト、事業承継)。④[区分4]定額給付金地元消費プレミアム付商品券事業:参加取扱店・事業所の募集し、当会地区の小売店等の事業者も20事業所が積極的に参加した。⑤[区分8]会の組織強化と財政基盤確保:昨年に続き、未加入事業所のリストアップを再度行い、加入促進のパンフレットを、個別訪問により配布した。	①地域情勢や要望に応えながら継続実施して行く。②社会情勢や事業者ニーズに応じた内容で今後も継続的に実施する。③今後も当制度を活用し継続的に実施して行く。④会議所と連携して実施していきたい。⑤今後も継続的に実施して行く。		4月21日	5月26日
下仁田町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	89.5% 67.3% 44.8% 99.5% 12.5% 0.0% 92.0% 105.1%	①[区分1]巡回指導:巡回指導比率は概ね目標値に近い数値を達成できた。指導員1人あたりの指導件数は例年並みに推移した。②[区分3]パソコン研修会及び個別指導:パソコン研修会(ワード応用編・インターネット入門)を開催、電子申告・納税システム(e-tax)について個別指導した。③[区分4]プレミアム商品券の発行:町からの協力を得て、5月と11月にプレミアム商品券を発行した。1回2,000万円を合計4,000万円(2回合計)を販売。④[区分7]商業祭の開催:商工会の会報等で会員企業に広く参加を呼び掛け、展示及び販売等を行った。⑤[区分7]まちなか活性化対策:「こんにやく手作り体験」を基本にした「まちなか案内マップ」や町の鎮守様である「諏訪神社写真集」を作成して、中心市街地の活性化を推進した。	①職員の資質向上が必要、適切な指導が出来る指導体制強化。②パソコン研修のニーズの把握、職員のスキルアップ必要性。③プレミアム分の上乗せ額の負担の確保が課題である。④出展者の増加対策、共催イベントの組み合わせ方、斬新的なアイデア(集客イベント)の確立。⑤まちなか案内マップを集客ツールとして勧誘に使用。		4月26日	5月21日
南牧村	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	118.4% 28.6% 43.4% 100.0% 12.4% 0.0% 90.9% 87.6%	①[区分1]講習会開催事業:イータックスを利用した申告方法の利便性を説明し、2件の申告事業者増につながった。②[区分8]商工会員増強事業:役員職員により情報交換や職員巡回時に会員獲得を目指し、商工会案内パンフレット等利用し、1名の加入があった。③[区分1]技術基盤強化支援事業活用による指導:問題点の解決方法については、エキスパートバンクを利用し、講師ともども企業に出向き目指す方向性を示すことができた。④[区分8]女性部組織率向上対策(部員増強事業):運動を行うも、部員の獲得はならず、やむなき理由により部員3名減少した。⑤[区分8]商工会カード加入率:役員、職員により青年部女性部を中心に加入勧奨を行い推進を図った。	①電子申告について、その普及は初歩の段階であるため、今後も事業展開は必要。②商工会組織の基盤強化のためにも、今後努力を続ける。③今後も継続して事業を続ける。④本事業は継続して実施していきたい。⑤今後も継続して実施していく。		4月26日	5月21日
甘楽町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	116.8% 109.5% 38.2% 99.9% 14.0% 100.0% 93.7% 81.5%	①[区分1]巡回指導比率:巡回指導比率の向上(平成20年度71.1%→平成21年度79.0%)。②[区分8]財政確立プラン策定:会員・役員の協力により、会費の増額と役員旅費の削減・行事の参加に自己負担の増額・役員総代の削減で経費の見直しが出来た。③[区分8]市町村との連携状況:商工会役員と町長・担当課長との懇談会の実施。④[区分1]技術基盤強化支援事業活用による指導:10事業所の指導支援を実施し、その中で1社経営革新計画の承認を受けた。⑤[区分3]パソコン研修:エクセルの基礎を実施、パソコン検定3級受講用コースを実施。	①業者全体への指導体制の強化、専門家指導との連携強化。②21年度は成果が見えたが、今後も経費の見直し等を実施する。③行政との懇談会は役員が町の現状を知る為にも必要。④良い事業なので更に多くの会員に利用してもらい、経営革新に繋げたい。⑤受講者の希望も多く実践的な計画を立てたい。		5月12日	5月26日

黒字:達成、緑字:県内平均超、青字:県内平均以下、赤字:未着手

平成21年度 商工会事業評価システム【事業分野別指標達成度及び注目すべき実績】一覧表

商工会名	指標達成度		注目すべき実績		目標値設定の妥当性	報告の有無	
	事業分野	達成度	重点課題項目として実施した注目すべき実績はどうか	今後の展開について	妥当性はあるか	理事会	総(代)会
安中市松井田	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	77.8% 58.9% 50.0% 40.0% 11.8% 0.0% 69.3% 89.5%	①[区分4]空き店舗対策支援事業:開業2周年イベントを開催した。また、自主運営のめどが見えた。②[区分7]「七夕祭り」「大歳参り」:夏祭りと年末の恒例行事として定着し、住民参加型イベントとして一般参加者増加。③[区分7]国際コミュニティを創る会運営支援:活動を通じ地域住民とのコミュニケーションが取れるようになった。④[区分7]「鉄道遺産群を愛する会」運営支援:地元郷土史家による信越線(横川軽井沢間)の歴史的背景について講演会の実施。⑤[区分7]光通信推進協力:395局内で推進協議会及び仮申込書の収集を企業に協力要請を行なう。	①運営を女性部が主に行なっているが、福祉施設に一部開放し運営移行も検討している。②七夕祭り実施会場の中心地で3店舗が消失する大火があり、今後場所や実施方法を検討する必要あり。③警察の統廃合により、安中市で新たな組織を22年6月発足のため準備を行っている。④世界遺産登録に向けた取り組みを広く市民に伝え活動を活性化して行く。⑤22年度に共用が開始されることが、ベストであるが不透明な部分がある。		4月23日	5月25日
中之条町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	84.4% 0.0% 16.7% 76.1% 10.5% 0.0% 88.3% 77.2%	①[区分8]会員加入促進事業:新規加入者10名に対し、脱退者24名となり、本年度も脱会が加入を大きく上回ってしまった。②[区分8]商工祭の計画・実施:キャラクターショー、幼稚園・保育園児童の絵画展や抽選会など、幅広い内容のイベントを実施。③[区分7]中之条町地域振興事業参加:まちなみ活性化部会、伊勢町通り道づくり協議会などへ積極的に参加した。④[区分3]商工会ホームページの運営事業:掲載事業所46件、平成21年度の総アクセス数は5,840回をカウントした。⑤[区分4]プレミアム商品券の発行:行政へ補助金を要望し、10%のプレミアム付き商品券を2,200万円分発行。	①役職員および青年部・女性部に協力を求め一丸となり継続して取組んでいく。②今後も継続し行うことで、地域に根ざしたイベントとして定着を図る。③商工会の意見を取り入れてもらうために引き続き積極的に参加していく。④情報の充実と更新を頻繁に行い、アクセス数の増加を図りたい。⑤町内および近隣町村の大型店舗との差別化を図りながら、今後も継続していきたい。		4月26日	5月25日
長野原町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	94.8% 28.9% 28.2% 117.9% 14.6% 0.0% 97.9% 87.4%	①[区分1]技能資格取得講習会実施:「移動式クレーン定期自主検査者安全教育」講習会を実施(10月16日(金)8:30~17:00、(社)日本クレーン協会群馬支部)。②[区分4]長野原町内消費拡大事業:「長野原町プレミアム商品券」の発行販売、「エコポイント制度の交換商品」として長野原町共通商品券の登録。③[区分1]巡回指導比率向上:経営指導員2名による巡回指導比率は、56.4%(前年度比1.7p減)。④[区分1]技術基盤強化支援事業活用による指導:エキスパートバンク3件、経営安定相談室1件の他、地域力連携拠点事業【専門家派遣】1件。⑤[区分1]金融支援対策:金融機関と協調し、緊急保証制度等を活用した金融支援を図る。	①事業者の要望を考慮した講習内容の選定、実施方法・周知方法の検討。②長野原町共通商品券「未使用残高1,000万円超過に伴う供託金」の問題については、事業協同組合と協調して対応検討する。③一層の巡回強化と窓口相談の対応が手薄にならないよう、計画的な指導体制について検討。④事業の周知・啓蒙、潜在的ニーズの掘り起こし。⑤暫定的に据置き等の返済条件を緩和できたものの、その後の返済対策まで見据えた事業計画の策定等について検討が必要。		4月23日	5月27日
嬭恋村	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	85.4% 42.9% 33.3% 79.9% 11.4% 100.0% 108.9% 88.4%	①[区分7]フィルムコミッション:映画やTVドラマ等21件のロケ地誘致を行った。地域の直接経済効果を得ることが出来た。②[区分7]神田雪だるまフェアー:2日間の開催期間中、約20万人を超える人出があった。さらにイベントの様子がテレビ、新聞に取り上げられ宣伝効果があった。③[区分1]確定申告e-TAX推進事業:税理士代理送信を6件、事業所に出向いてe-TAX申告操作方法を3件行った。④[区分1]確定申告税理士無料相談会:事業所が個々に確定申告を行うことによって税法の知識の向上につながった。⑤[区分1]経営セミナー:中小企業診断士清水邦宏氏を招き「今、経営者は何をすべきか」と題し講演会を開催した。	①「群馬フィルムコミッション連絡協議会」と「信州フィルムコミッションネットワーク」との広域連携により撮影の誘致と質の向上を図っていきたい。②来年度は10周年としての記念イベントにすべく合意がなされている。③税務署、税理士と連携を図りe-TAXの理解と推進に努める。④e-TAXも推進し個人事業者が自己申告をできるように推進をする。⑤セミナーの内容を検討し回数を増やしたい。		5月7日	5月24日
草津町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	78.3% 39.6% 33.3% 75.0% 11.6% 100.0% 83.6% 93.5%	①[区分4]プレミアム商品券販売事業:町内プレミアム商品券取扱い事業所95事業所にて58,197,000円の商品券換金がなされ、草津町における多大な経済効果があった。②[区分4]草津(932)温泉感謝キャンペーン:商工会員の飲食店組合員84店舗及び菓子組合、土産品組合18店舗がキャンペーンに参加。③[区分8]会員増強促進事業:廃業等を含めて17事業所の脱退者があったが、会員増強運動により、17事業所の新規加入があり、会員数の維持が図れた。④[区分8]従業員永年勤続表彰式:永年勤続従業員への表彰と記念品の授与(20事業所43名の表彰)。⑤[区分7]第7回商工祭(西吾妻地区合同):吾妻郡内40事業所・団体が参加し、商品の販売等を行い出店業者の販路開拓、事業PRをする事が出来た。	①町民の声を聞くと、もう一度やってほしいとの意見が多く、今後の課題とする。②平成23年度に向けての事業継続。③恒久的継続を目指す。④パートタイマーへの依存度が高くなっている為、パートタイマー従業員の雇用条件など十分な配慮が必要となる。⑤第8回商工祭開催に向けて、西吾妻郡内商工会青年部で話し合い企画する。		4月27日	5月26日
六合村	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	114.4% 28.6% 50.0% 0.0% 12.7% 0.0% 78.0% 69.3%	①[区分1]巡回指導件数向上と全事業所巡回対策:商工会員・非会員を区別せず、全小規模事業者に対して、各種情報の提供と指導に心がけ巡回指導の強化した。②[区分1]技術基盤強化支援事業活用による指導:積極的に事業を周知し利用促進に努め、相談指導実績5件(商標登録2件、特産品開発2件、ラベル作成1件)。③[区分5]特産品加工事業による地域振興:行政の理解と連携により設備完成(花いんげん煮豆腐巻き機の導入、豆腐製造関連機器の導入、真空パック機械の設備)。④[区分8]対予算自己財源比率の向上:建設関連事業者に対する各種申請書類や契約書等の作成により手数料収入を確保し自己財源比率を向上。⑤[区分3]ホームページ更新による情報の提供:充実したホームページの更新による、会員情報サービスと特産品づくり販路マッチング。	①年間計画により、継続的巡回指導の実施。②会員事業者の課題を適格に把握し、有効活用PR。③業の目的を周知PRし、積極的に取り組めるよう努める。④手数料収入による自己財源の強化で、商工会(支所)としての存続を計る。⑤事業の目的を周知PRし、積極的に取り組めるよう努める。		4月21日	5月21日

黒字:達成、緑字:県内平均超、青字:県内平均以下、赤字:未着手

平成21年度 商工会事業評価システム【事業分野別指標達成度及び注目すべき実績】一覧表

商工会名	指標達成度		注目すべき実績		目標値設定の妥当性	報告の有無	
	事業分野	達成度	重点課題項目として実施した注目すべき実績はどうか	今後の展開について	妥当性はあるか	理事会	総(代)会
高山村	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	82.3% 0.0% 16.7% 75.6% 24.7% 0.0% 66.6% 83.9%	①[区分7]アルミ缶回収事業:「高山村環境inもったいない」運動の一環として商工会も協力体制としてアルミ缶回収事業を行う。②[区分7]イルミネーション点灯事業:平成21年12月1日から平成22年1月末日の期間、点灯し、通行客に楽しんでいただけた。③[区分7]「ナイトウォークinたかやま」の開催:参加者は83名のうち58名が村外者だった。村外からの参加者が多く、高山村をアピールすることが出来た。④[区分5]特産品開発事業:行政・JA・農業者・商工業者による平成21年度地域資源∞全国展開プロジェクト事業の調査研究(ブランド米の研究を行う)。⑤[区分8]行政懇談会の実施:高山村の現状の把握とブランド化している方の講義を受け、今後の地域ブランドを計画していく上で参考になった。	①空き瓶や不燃物が多く捨てられるようになり、村広報誌などを通じてアルミ缶のみ捨てるように呼びかけていきたい。②アルミ缶回収事業と連動し、装飾も徐々に増えてきている。今後も連動して事業を行いたい。③改正点など意見を出していただき、よりよい第4回ナイトウォークを開催したい。④補助金は単年で終了だが、継続して特産品開発をしていく。⑤高山村の良質な耕作地や観光資源を活用した農商工連携による事業に取り組んでいく。		4月27日	5月27日
東吾妻町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	78.3% 31.0% 42.2% 82.8% 12.4% 0.0% 84.3% 85.1%	①[区分7]東吾妻町ふるさと祭事業:地域の融和が図られ、一体感を増加させ多くの消費者とのふれあいにより地域事業者の事業機会を増大させた。②[区分4]商店街街路灯改修整備事業:省エネ型街路灯により環境対策となり、ランニングコストの削減も実現された。③[区分1]地域活性化講演会:成果をあげている事例の説明や本地域にふさわしい取り組み方の指導を受ける講演会をおこなった。④[区分3]情報化環境向上事業:光ファイバー回線の導入指導を実施し、同時に通信コストの削減提案をおこなった。⑤[区分4]販売促進イベント事業:「大酉祭」催事会場で販売促進事業(ポイント事業)を実施した。	①継続展開することにより、さらなる融和、行政連携が深まり、発展的多角的な連携事業が可能となる。②明るく、ランニングコストの安い街路灯設置により商店街振興を継続的に進めていく。③地域活性化を図る努力を継続していかなければならない。④情報量の拡大とともに情報通信環境の整備が重要性を増してきており、経営戦力には最先端の技術導入を目指す必要がある。⑤地域零細事業者環境の悪化の歯止めとなるよう継続的にイベントをしかけていく必要がある。		5月13日	5月27日
沼田市東部	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	111.6% 42.9% 54.0% 100.8% 12.3% 0.0% 88.2% 85.2%	①[区分7]パンフレット作成(継続・更新):変形A3両面カラー6ツ折りパンフレット7,000部を作成し各事業所に配布。②[区分3]ホームページのリニューアル:ホームページの内容を更新したことで、開設以来4万5千件以上のヒット数を記録した。③[区分7]利根町・白沢町総合パンフレットの作成:A2版両面カラー印刷4ツ折りのパンフレット10,000部の発行。④[区分7]農商工連携等人材育成事業:農商工連携等人材育成事業(県商工会連合会事業)に取り組み、計10回の講演を行い約500人からの参加者がありました。⑤[区分8]農商工連携等人材育成事業:白沢町「特産品開発部会」、利根町「観光部会」を設立し組織の充実と地域活性化の基礎となる人材育成を進めた。	①パンフレット内容の充実をして更なる利用の増大を図る。②ホームページを利用したネットショップに力を入れたい。③今年度も引き続き改訂版の発行をすることで利用者の使いやすさや見やすいパンフレットとする。④農産物直売所の責任者と意見を同調できる人材を確保し、時代を先取りした経営を行うように指導していく。⑤地場産ソース(材料はすべて白沢産)の開発、カツプフルーツの開発を継続して実施。		4月28日	5月28日
片品村	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	90.2% 0.0% 0.0% 0.0% 11.3% 0.0% 70.2% 54.6%	①[区分5]花豆を活用した特産品開発事業:片品村(尾瀬ブランド)の商品作りを目指し、平成22年度地域資源∞全国展開プロジェクト事業計画書の作成及び申請。②[区分7]片品村ヘルシーリズム研究事業:2モデル6コースのモニターツアーのプログラムの作成。③[区分1]地域力連携拠点事業:経営継承円滑化法による、保有株式等の後継者への移管。④[区分8]商工会員増強:加入が1事業所あったが高齢化及び後継者いないため、11会員が廃業等により脱会した。	①農工商、行政が一体となって地域財産の掘起こしが行えるよう組織強化に取り組みたい。②平成22年度において、モニターツアーの募集を開始し今後の、検討課題を整理する。③事業承継の会員への積極的な制度説明。④高齢化による廃業は一段と加速しそうな勢いであるが、後継者問題に取り組み会員の増強を図りたい。		5月10日	5月25日
川場村	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	118.7% 76.4% 35.5% 75.9% 61.1% 100.0% 46.2% 117.3%	①[区分2]農商工連携事業:認定事業所になった。②[区分2]経営革新支援事業:中長期的な戦略を具現化に近づけた(具体的な生産拠点と投資計画の策定)。③[区分7]プレミアム商品券立ち上げ:加盟店の募集を行った。④[区分5]地域資源活用事業:目的が大きすぎて主力商品が見出せず、計画の再構築が必要となった。⑤[区分7]街路灯の維持管理:実現できず、中古の街路灯で補った。	①これからの実用化のスタートなので、更なる新規性が求められる。②良品高付加価値の方向のまま、生産拡大、販路拡大が期待される。③景気対策関連の事業として計上されていくかどうか。④農商工連携事業へ変更。⑤設置以外の維持管理が心配される。		4月21日	5月21日
昭和村	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	99.0% 38.1% 33.9% 54.2% 25.6% 88.9% 186.1% 82.4%	①[区分5]JAPANブランド育成支援事業(2年目):20年度試作開発した「こんにゃくハンバーガー」の完成度を上げ、ヘルシーハンバーガーとして十分に消費者支持を得るものをつくりあげる。②[区分2]創業人材育成事業経営革新塾:地の観光関連の先進事例についての講習や、先進地視察を通して、当地域での観光事業の可能性について講義を受けた。③[区分2]創業人材育成事業試行的な経営革新塾:全3回の講演の開催と、現地視察研修を行った。④[区分7]ふるさと雇用再生特別基金事業「観光情報発信拠点設置事業」:地域資源をデータベース化することができ、今後地域資源の有効活用のための基本データがまとめられた。⑤[区分1]21年度経営セミナー:河合進氏を講師に招き、「たくみの里」構想を成功させた、観光振興策や地域活性化の促進についての講演を開催した。	①JAPANブランド育成支援事業(3年目)の応募。②テーマ・対象等を変えて、次年度においても実施したい。③完了、今後事業や地域振興の中心となる、若い世代に、経営や地域づくりを考える良い機会となった。④継続実施しさらに拡充し独立した組織体系にしたい。⑤経営セミナーについては、また次年度においてもテーマを変えて実施していきたい。		4月26日	5月24日

黒字:達成、緑字:県内平均超、青字:県内平均以下、赤字:未着手

平成21年度 商工会事業評価システム【事業分野別指標達成度及び注目すべき実績】一覧表

商工会名	指標達成度		注目すべき実績		目標値設定の妥当性	報告の有無	
	事業分野	達成度	重点課題項目として実施した注目すべき実績はどうか	今後の展開について	妥当性はあるか	理事会	総(代)会
みなかみ町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	83.0% 54.8% 46.0% 101.1% 11.5% 100.0% 90.4% 101.1%	①[区分4]みなかみ町商工会共通商品券事業:平成21年度の総発行金額1億200万円が会員事業所で消費されるに至った。②[区分7]平成21年度小規模事業者新事業全国展開支援事業:みなかみ町の伝統工芸技術をいかしつつ市場性の高い雑貨類を開発する。③[区分3]経営革新塾(ITコース):当初参加した30名の内、11名がこの講座によりMTOSテンプレートを作成し、実際に運営を開始した。④[区分3]初級パソコン講座:初級パソコン講座(2時間×4日間)。⑤[区分1]一人親方団体設立:56名入会により、一人親方団体を設立。	①プレミアム商品券については、今後も町と連携を図りながら予算確保に努力し、定期的な発行を目指す。②商品アイテムの構成が最重要課題になることを理解し、今後も継続していく。③今後は売上につなげるための技術支援を引続き実施。④今後も定期的期に開催し、パソコン操作上達のための支援を行う。⑤まだ未加入の事業者もいることから、今後も加入促進を行う。		4月28日	5月20日
太田市新田	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	91.8% 28.6% 64.3% 113.8% 13.2% 100.0% 83.1% 89.5%	①[区分2]地域力連携拠点事業(創業)専門家派遣:2度の専門家派遣(1.利益の出る経営と地元の農家や商店との連携について・2.共同経営のための事業体構築について)。②[区分3]パソコンセミナー:ワード・エクセルを昼・夜のコース、各15名定員で実施した。③[区分8]新入会員の加入促進運動の推進実施:年度中23事業所の新規加入者があった。④[区分4]QRコード利用新スタンプカード稼働:平成21年9月1日に設立総会を開催し、にったハピスタンプ会を稼働させた。⑤[区分7]部会活動(工業部会)活発化への取組み:工業部会企業への見学会。⑥[区分7]青年部活動:かかしまつりで有名な藪塚の地に、ギネスにも認定された高さ10mの巨大かかしを建て地域をPRした。	①経営初心者の不安の解決と有益な情報提供を継続的に実施する。経理面は煩わしく感じられるが事業展開に不可欠なことなので、記帳指導を行う。②適当なパソコン講習用テキストを見つけることや、講師のレベルアップも必要になる。③会の安定的な運営のためにも重要であり、更に積極的に事業継続していく。④QRコード利用のスタンプ研究活動を行い、本格稼働お客様サービスに結び付ける。⑤部会員相互間の受発注の促進。⑥若手経営者・後継者育成という商工会青年部本来の目的を達成するための事業にも、もう少し重点を置いて活動を展開する。		5月13日	5月26日
桐生市新里	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	106.2% 14.3% 73.0% 96.4% 12.7% 0.0% 95.5% 95.1%	①[区分8]共済推進事業:対前年比収入106.3%を達成した(5,858千円→6,226千円)。②[区分1]巡回指導強化事業:巡回件数が対前年比200.2%を達成した。③[区分1]利子補給事業:「商工貯蓄共済融資利子」で50事業所76件に対し4,837千円の補給を行った。「日本政策金融公庫融資」で46事業所68件に対し3,107千円の補給を行った。④[区分1]決算・申告指導、e-Tax推進事業:青色決算指導会(2回59名参加)、青色申告指導会(消費税含む)の開催(4回64名参加)、申告者数64名、e-Tax送信件数31件。⑤[区分7]新里こどもフェスタ:「新里こどもフェスタ」の実施。	①普及のPR方法を再考する。今年の推進課目を決定する。②計画に基づいて巡回訪問を実施する。③行政の支援を頂いて今後も実施したい。④今後もe-Taxの普及を推進する。適正な決算、申告指導を継続する。⑤地区内商業振興に繋がるイベントになるよう事業展開したい。		4月21日	5月24日
桐生市黒保根	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	89.5% 28.6% 36.4% 104.8% 27.6% 100.0% 79.6% 87.5%	①[区分4]プレミアム付商品券発行事業:第1弾(登録事業所19店、売上総額120万円、回収金額114万円、回収率95%)、第2弾(登録事業所21店、売上総額240万円、回収金額140万円、回収率58%)。②[区分1]中小企業金融円滑化法の普及促進事業:中小企業金融円滑化法の普及パンフレットを配布し制度の再認識を図ることができた。③[区分1]利子補給事業:商工貯蓄共済融資(40件1,377千円)、日本政策金融公庫融資(15件196千円)。④[区分8]行政懇談会の開催:行政懇談会を開催した(商工会役員他20名、桐生市側7名)。⑤[区分1]事業継続計画策定事業:事業継続計画の概要についてパンフレット等を利用して説明した。	①完了、緊急経済対策の一環として行政の補助を得て実施した事業であったため。②国や県の経済対策に対応して、今後も継続的に制度の普及促進活動を実施する。③本事業に対する事業者の評価は大変高いものがあり、継続的に実施することが重要であると考え。④地元行政と緊密な連携を図るため、今後も継続的に懇談会を実施したいと考える。⑤今後も継続して事業継続計画の策定の重要性について理解を深めていくことが必要であると考えます。		4月28日	5月25日
東町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	147.9% 71.4% 228.3% 100.0% 12.5% 0.0% 76.6% 89.9%	①[区分1]技術基盤強化支援事業:5件の実施(割賦販売の体系の理解、企業パンフ兼ちらし、商品ロゴ・商品ラベルの作成、会社名称・ロゴのデザイン化、トラブル回避のための契約書作成)。②[区分3]商工会広報誌発行事業:商工会事業の紹介、工業部会・青年部・女性部の事業PR、区長の定期配布に依頼。③[区分3]商工会パソコン研修会:7日間の講習に延べ85名の参加者があった。会員事業者2名のIT活用事例。④[区分3]e-Tax普及促進事業:41件の電子申告による確定申告終了。⑤[区分8]会員増強基盤強化事業:2事業所の商工会青年部加入があり、県青連の青年部員増強運動達成表彰の対象となった。⑥[区分4]プレミアム付き商品券発行事業:利用率=99.63%(利用額/販売総額)、未利用額=44,000円(88枚)、シェア=3.43%(東町)・37.19%(笠懸町)・59.37%(大間々町)。	①エキスパートの派遣により、経営指導員の経営指導を補完する。②年3～4回の発行を目標とする。③県連貸与のPCを使用するため、カリキュラムに制約があるが、受講者のニーズを反映したもので、事業計画を立てる。④税務指導の一環として必要に応じて指導体制を取っていく。⑤若手後継者の発掘と部員からの加入勧奨も継続的に実施する。⑥みどり市からの補助金に依存する。		5月7日	5月20日
笠懸町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	108.9% 28.6% 80.0% 75.0% 12.5% 100.0% 76.6% 162.6%	①[区分3]商工会IT研修事業:パソコン操作を交えた講習会を4回行ったことで、ネットビジネスが身近なものになり、参加者への意識付けができたものと思われる。②[区分3]商工会広報事業:青年部員の広報企画委員を中心に、商工会事業の記事掲載や事業所紹介を行い、身近な広報として会員からの評判も良い。③[区分8]後継者支援事業:技術的な相談先に群馬大学工学部教授、会員同士の受注発注の機会拡大を狙いとして名刺交換会を行った。④[区分8]商工会会員増強事業:会員交流事業や、部会の事業にたいして未加入者の参加呼びかけを積極的に取り組んだ。⑤[区分8]部会活動の積極化:会員交流企画委員会を軸に据えて、年間数回イベントを実施。会員相互の交流及び情報の交換が図られた。	①景気低迷の時期に、低コストのネットビジネスがクローズアップされてきた。②新鮮で飽きのこない記事を目指し、広報企画委員が記事構成を考えていく。③大学教授との面識や会員相互の交流が図れ、有意義な事業となった。④現状、財政基盤の充実と組織率の向上が再重要課題のため、継続して取り組む必要性大と考えています。⑤全会員を対象としているため、好評である。		5月10日	5月26日

黒字:達成、緑字:県内平均超、青字:県内平均以下、赤字:未着手

平成21年度 商工会事業評価システム【事業分野別指標達成度及び注目すべき実績】一覧表

商工会名	指標達成度		注目すべき実績		目標値設定の妥当性	報告の有無	
	事業分野	達成度	重点課題項目として実施した注目すべき実績はどうか	今後の展開について	妥当性はあるか	理事会	総(代)会
大間々町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	89.0% 32.0% 58.8% 100.4% 13.0% 100.0% 97.5% 93.8%	①[区分1]利子補給事業:147事業所458件(総額14,261,000円)の補給を行った。②[区分1]決算申告指導・e-Tax推進事業:青色申告決算指導会(2回開催33名参加)、青色申告指導会(消費税含む)の開催(2回開催60名参加)、e-Tax送信件数(3件)。③[区分4]プレミアム付き商品券発行:みどり市内三商工会(東町・笠懸町・大間々町)が共同し、20%プレミアム付き商品券、総額1,200万円を発売した。④[区分8]会員加入推進事業:新規加入者15名、脱退者44名(廃業22名、その他22名)となり、会員減少に歯止めをかけることができなかった。組織率55.3%。⑤[区分8]青年部加入推進事業:新規加入者12名、脱退者4名(年齢超過2名、脱会2名)実増8名、部員増強ができた。組織率60%。⑥[区分8]部会再編事業:部会を4部会(商業・飲食部会、サービス部会、工業・製造部会、建設部会)に再編。	①行政の支援が続く限り実施したい。②E-Taxの普及にはまだまだ時間がかかるが、講習会の開催などを計画し継続して普及を推進したい。③プレミアム付き商品券の売上は好調であり、今後第2弾の発売を検討したい。④広く報奨制度の活用をPRし、役職員一丸となって新規会員獲得に努める必要がある。⑤継続して加入増強をしたい。⑥完了、各部会が積極的に工夫をこらした部会活動を展開していくことが必要。		4月26日	5月27日
板倉町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	91.1% 28.6% 99.1% 100.0% 12.7% 77.8% 72.8% 81.4%	①[区分4]板倉町商工会プレミアム付商品券販売:板倉町商工会役員を中心として、プレミアム(10%)付商品券を販売(総額2千2百万円)した。②[区分7]初市の開催:商業集積のない本町で、商業部会が中心となり初市を開催することにより、商工会役員及び事業者の意識が高揚し結束が強化された。③[区分7]経営セミナー:工業部会を中心に企業の成功例を挙げながら講座を実施(参加者20名)。	①概ね達成したため完了。②廃止、初市から商工祭へ移行するため。③今後も経営者にとってためになる講習会を実施し、将来明るい見通しを付けたい。		4月22日	5月26日
明和町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	72.4% 28.6% 87.4% 75.0% 13.2% 100.0% 78.9% 77.4%	①[区分4]感謝フェア事業:町内消費者向けにA2版ポスター、A5版チラシ、HPによる周知。②[区分3]情報化推進事業:情報化の推進を図るため、各種システム機器の導入方法及び情報提供による支援を実施。③[区分8]商工会会員加入促進事業:加入勧奨により、2名の加入が実現した。	①継続事業として複数年にわたって、継続実施する必要がある。②今後もさらなる情報化がおこると推測されるので、継続実施する必要がある。③今後も、景気後退からの廃業等の増加が見込まれるので、継続実施し、商工会の役割をアピールしていくことが重要である。		4月21日	5月19日
千代田町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	94.6% 31.2% 346.0% 98.3% 8.7% 100.0% 50.4% 82.6%	①[区分1]巡回指導の徹底:会員の事業内容の把握と会員の事業内容に応じた案内により、1社1技術や商工会ホームページ利用が増えた。②[区分3]ホームページの充実:掲載事業所を24件増やすことにより、78事業所の紹介ができた。③[区分3]e-Tax普及促進:21年度分の電子申告は、全体の20%に相当する10件であった。④[区分7]プレミアム消費券発行:1,100万円分の消費券のうち、地域加盟店で3カ月の短期間に消費され、消費拡大につながった。回収率は99.4%であった。⑤[区分8]共済増強による福祉の向上:傷害共済50人増、フレンド共済8人増、自動車共済4件増。⑥[区分8]会員加入増強:加入者5件に対し、脱会者が9件あった。前年末308名が今年度末304名に減少した。脱会者9件のうち7件が廃業であった。	①巡回訪問により、継続的な連絡が必要と思われる。②紹介事業所を増やすことにより、内容を充実させ、さらに期待されるホームページに変えて行きたい。③住基カードの取得に手間がかかるため、代理送信による方法が有効である。④プレミアム分の負担があり、町の補助がないと継続は難しい。⑤地元JA共済への加入率が高い。新規物件を中心に情報を入手しながらすすみたい。⑥組織率を向上させることにより、事業の充実と財政基盤の確立をはかる。		4月15日	5月24日
大泉町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	87.3% 25.0% 25.0% 50.0% 0.0% 0.0% 95.4% 69.9%	①[区分8]会員増強運動:役職員が一丸となって取組んだ結果、22名の加入があったが61名の退会者あり、差し引き会員数は962名となり、目標を達成できなかった。②[区分8]商工会財政基盤の強化:加入件数の目標を設定し、会員のニーズにあった共済の加入を推進した。③[区分1]会員メリットの実現:きめ細かいサービスを提供したが、急激な不況等により退会者が増加してしまった。④[区分4]御用聞きサービスの実施:当初5社で試験的に行うということでスタートした。⑤[区分7]観光開発事業:地域資源全国展開プロジェクト事業の調査結果を加味して「ブラジル横丁」で町おこしをテーマに調査研究を行う。	①組織基盤に係る問題なので毎年事業を継続する。②継続的のPRし、会員のニーズにあった共済を提供する必要がある。③今後も継続して実施。④事業を継続して、参加企業を増やして行きたい。⑤ブラジル横丁実現のために今後も調査研究を行う。		5月10日	5月27日
邑楽町	1.経営指導関連事業 2.創業・新分野進出支援関連事業 3.情報化関連事業 4.中小商業活性化関連事業 5.特産品関連事業 6.ビジョン策定関連事業 7.地域活性化関連事業 8.組織基盤強化関連事業	106.5% 42.9% 42.5% 75.0% 13.4% 100.0% 74.3% 91.3%	①[区分7]おうら町プレミアム付き金券発行事業:150事業所の当該事業への参加があり、業種も商業を中心に幅広い業種に亘った。町全体への活性化策が浸透した。②[区分1]エキスパートの積極的活用事業:7事業所、8件の相談内容にそれぞれの専門分野毎のエキスパートにより的確な指導を受けた。③[区分1]「5Sの基本を学ぶ」講習会の開催事業:工業部主催講習会「我々は5Sで何を求めるのか」、青年部主催講習会「5Sをもっと知ろう」を実施。④[区分4]前年度作成の商業マップ活用促進事業:当該年度中にマップ残部数6,000枚を配布した。⑤[区分1]群馬環境GS認定への支援事業:当該年度中、14社を対象に、新規申請支援及び活動支援を行った。	①完了、プレミアム分の財政的裏づけなくしては、事業として成立し得ないところに無理があり、同種事業の継続は難しいと思われる。②会員アンケートによっても、まだまだ商工会事業の中での知名度は低い状況が指摘されているので、より一層PRしていく必要性を感じる。③経営環境に柔軟に適應していく企業の基礎体力を高めるために、5Sは欠くことのできない実践的活動であるとの認識は重要である。④第2弾商業マップ作成事業(卸・小売・サービス業対象)を次年度の重点事業として実施する。⑤環境GS認定制度をより多くの会員事業所に周知し、業績の向上につながるプラス効果をもたらすことを期待する。		4月21日	5月21日

黒字:達成、緑字:県内平均超、青字:県内平均以下、赤字:未着手